

会議録

会議の名称	令和3年度第2回新城市若者議会
開催日時	令和3年5月26日（水）午後7時から
開催場所	各自宅からオンライン開催
会議の内容	令和3年度第2回新城市若者議会 ・アイデア意見交換（グループワーク） ・まとめ、共有 ・事務連絡

1 アイデア意見交換について（グループワーク）

各委員が現時点で考えている「新城をよりよいまちにするためのアイデア」を出し合い意見交換を行った。以下内容は、グループワーク後に各グループから共有・発表された意見交換の内容や委員の感想である。

Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流について ・農業について ・新城市の自然を活かしたファームステイなど、田舎暮らしや農業に興味のある方などが移住定住するきっかけをつくることもよいのではないか。
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光について 新城に訪れた際に、より印象に残りやすいインパクトのあるシンボルがあると今後の観光面に効果的ではないか。 ・交流について 廃校の活用など幅広い年齢層において交流できる場を設けることが必要だ。 ・PRについて ・公共交通について
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光について (1)若者がより楽しめるイベント（過去若者議会で行ったフェスイベントを継承しながら）を行うと若者が集まり活発な新城市になるのではないか。 (2)観光スポットの充実
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用について SNSなど若者が求めていることを再認識でき、新しい視点での考えた方ができた。

<p>E グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより住みやすいまち、生活しやすいまちというように市内向けのアイデア（環境整備等）が主に話された。 ・市民の声も取り入れるべき。 ・今期若者議会で政策が達成できなかったとしても、来年度以降継承していくための制度作りも必要である。
<p>F グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校活用について 廃小中学校を活用して懐かしい思いに浸れるような大人向けのイベントを行う。 ・ファームステイ 移住定住者、農業就業人口の増加につながる。体験移住とも関係を持たせるとより効果的か。 ・小中学生との関わり 小中学生に新城市の良いところを知ってもらうようなイベントを開催し、地元愛を育むなど、シティズンシップ教育という見方も重要ではないか。 ・Uターンについて 現状、大学生のUターン率はどのくらいなのか。 市外で就職したとしても、新城市とつながることはできないか。
<p>G グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりが重要。 <ul style="list-style-type: none"> (1)観光 市外からの来訪者の増加を目的にするだけでなく、市民にも市の魅力を伝えるきっかけを作る。 (2)国際交流 国籍を問わず住みやすいまちにするために政策を考えることが必要だ。 (3)情報発信 市外に向けてなのか、市内に向けてなのか、情報発信を政策にするのであれば、今後検討をしていく必要がある。